

## 屋島寺

屋島寺は屋島で最も目を引くスポットの一つである。754 年、日本に仏教の律宗を開いた中国の僧・鑑真（688-763）が屋島の北側に創建したとされる。9 世紀初頭に僧侶の空海（774-835）によって真言宗の寺院に改められ、さらに台地の南側の現在の場所に移された。四国八十八ヶ所お遍路の 84 番目の札所である。

本堂に安置されていた寺の本尊である千手観音像は、空海が彫ったといわれ、現在は宝物館に展示されている。この千手観音像と本堂、1223 年の梵鐘は重要文化財に指定されている。

寺院の宝物館には、千手観音像のほか、仏像、1185 年に起きた屋島の戦いに関する資料などが展示されている。本堂の横には、どんな姿にもなれるという伝説のためぎの精霊、葦山大明神が祀られている。